

【遊びの経過】

水遊びが大好きな子ども達は、用水路での遊びを楽しんでいる。地域の人の協力で裏山に水が流れる設備ができ上がった。いつもの違いに気づいた子ども達は、興味をもって裏山に行った。始めは、戸惑いが見られたが、自分なりの考えでの遊びを展開し始めた。

【ねらい】

(3歳)身近な自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもって遊びを楽しむ。
(4,5歳)身近な自然に興味や関心を持ち遊ぶ中で、新しい環境へのかかわり方や遊び方を工夫して楽しむ。

【 ○幼児の活動 ★環境の構成 ■保育者の援助 】

★裏山の水路からビニールの筒を伝って園庭に水が流れるようにしておく。

○裏山に行き、水の流れるに興味をもって遊び始める。



なあ、なあ。花を入れてみようや。【発見】【探究心】

入ったよ。あ、流れてきた。【気付き】【満足感】

僕もしたい。【場の共有】

こんな方法もあるよ。【試行錯誤】

水を止めよう。【挑戦】

いくよ。1,2の3。やったあ。【発見】【思考】

急に水が流れてきたよ。【発見】



面白いなあ。【意欲】【満足感】

ああ、びっくりしたあ。【驚き】

○水の遊びを工夫する。

ここから石を入れたら流れるかな。【探究心】

プールにお水が入るよ。【意欲】【満足感】



大丈夫、流れそう。【予想】



お水、ぬるいよ。【気づき】【遊びの共有】

カエルになったよ。【表現】【満足感】



泳ぐの楽しいなあ。【満足感】【達成感】

また、しような。【達成感】



【評価】

(3歳)水の感触を楽しんだり、水の流れるに発見や驚きを感じながら水路を使った遊びを楽しんだりしている。
(4,5歳)水路に物を流したり、水の流し方を自分なりに考えたりして、工夫して遊ぶことを楽しんでいる。

■地域の方々にお世話になって出来上がった遊び場であることを伝え、感謝の気持ちをもてるようにする。
■どういう反応をして遊びに取り組むのかじっくり観察し、子どもの気付きや驚きに共感する。

■遊びの中で子どもたちが何を必要としているかを見取り、声をかけたり、手を貸したりする。
■気付きを言葉にする子どもに共感したり、気付きを回りの子どもへ紹介したり広げたりする。
■保育者も一緒に遊びに参加し、楽しさを分かち合う。

■楽しいという気持ちが膨らむよう、子どもたちの気持ちに共感する。
■水に対して興味をもち、子どもたちが自分で考えた遊びが十分楽しめるよう、安全に配慮しながら見守る。
■また遊びたいという気持ちをもち、次回はどんなことをしようかと考えられるような環境にするため、子どものつぶやきや様子を見逃さないようにする。